



ひよこ・すみれ組だより

7月

今月はひよこ組さんに新しいお友達5入園しました。子どもたち一人ひとりが安心して過ごせるように環境を整えていきたいと思ひます。又、新型コロナウイルスだけではなく、この時期特有の感染症や熱中症対策など子どもたちの健康管理・安全対策には十分気を付けていきたいと思ひます。引き続きご協力をお願いします。



新しいお友達の紹介です



衣類の着脱について

ひよこ・すみれ組のテラスが広くなりゆっくり過ごせるようになりました。ミストが出る扇風機が心地よく暑さを軽減しています。すみれ組さんは水遊び用のシャツに着替えると、自分のプールバックを見つけお洋服を入ようとする姿が見られるようになりました。「自分でやりたい」という意欲が育ってきているようです。自分で感じて自分で着替えるという意欲を応援するためには、できるだけシンプルに着替えやすい洋服の準備をお願いします。しかし、子どもによっては色や形にこだわり、自分でタンスから着たいものを選んでくる事もあります。このような行為は自分の気持ちや感覚を表現している意味のある行為なので尊重していきたいと思ひます。

『衣類の着脱は、自分でできる、自分でできたという目に見える形での達成感が得やすく自信につながります。』 0・1・2歳児からのていねいな保育 汐見稔幸先生監修 著書より



室内の環境が変わりました。



月齢の低いお子さん(4ヶ月)~月齢の高いお子さん(2歳4ヶ月)と一緒に過ごしています。寝返りをうつ子からロフトに自力に上られる子まで成長が様々です。それに伴いミルクを飲んだり、午睡をする生活環境スペースを広くし、月齢の低いお子さんが安心して過ごせるようにロフトの位置を移動しました。又、つかまり立ちや歩行が確立してない子の為に、はいはいゾーンを作り、様々な素材に主体的に関われるように工夫しています。



抱っこしての「授乳」が愛着関係を育てます

- 吸う活動の意味
- ① 口の中の筋肉を発達させる。
 - ② 口蓋を刺激し、言語活動につなげる。
 - ③ 離乳食をスムーズに進める。

『自分の世話をしてくれる大人の人にしっかり抱かれて飲むことは、「自分は愛され、守られているんだ」ということを感じ取って、人との信頼関係を築き、愛着関係を育てるために大切な基本的な営みです。いつも自分の世話をしてくれる人の顔を覚え、その人との快い感情の交わりや、愛情の交流の喜びが増えていきます』

0・1・2歳児の保育 乳幼児の生活習慣より



かみつくとひっかきについて



自我が芽生え、要求が出来てもまだそれを言葉で伝えられない1~2歳の子どもはかんだりひっかいたり、物を投げたりなどの大人にとって困った行動をよくします。要因として、①体調が悪いとき(寝不足や便秘)②ストレスがたまってイライラしているとき③相手に攻撃されたとき④要求を言葉で言えず行為が先行するとき⑤感極まったとき(うれしさの表現)等です。

保護者の方々と一緒に子ども達の様子を伝え合いながら生活リズムを整え、言葉にならない思いをしっかりと受け止めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

